

令和3年度 第1回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和3年5月18日（火）午後1時30分～午後3時30分
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室
出席者 11名
1号委員 井上 誠 阿部 誠子 池田 香 池田満好 信夫 効次
後藤 俊一 池田 修 小松久美子 佐々木 アキ
2号委員 小松幸雄 高橋 知美
欠席者 2名
1号委員 荒生 明美 土井 隆博

八幡総合支所 支所長 平井 雅史、支所長補佐 阿曾 敏
危機管理課 後藤 和紀、菊池 安人

議事日程

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ（代理：副市長）
- 3 委嘱状交付
- 4 委員自己紹介
- 5 会長、副会長互選
- 6 会議録署名委員の選出
- 7 報 告
 - （1）防災情報の新しい伝達手段の整備について（危機管理課）
 - （2）市長報告会の概要について
 - （3）令和3年度当初予算（八幡総合支所関係案）について
- 8 協 議
 - （1）八幡地域協議会年間計画について
- 9 その他
- 10 閉 会

【協議の概略及びその結果】

今回は、防災情報の新たな伝達手段として、コミュニティFMを利用して行うことについて、危機管理課より報告があった。

その後、令和2年度の市長報告会の概要、八幡地域関連予算に関する報告があり、今年度の地域協議会の年間計画について協議を行った。

今年度の年間計画については、今回を含め年4回の協議会を開き、2回・3回の協議会では、過疎計画について協議すること、4回目に委員のから出された地域課題を取りまとめ、年度末に市長に報告することになった。

1 開 会

○事務局 地域協議会は、平成17年12月に、合併前の旧八幡・松山・平田の各支所単位に設置され、地域住民に意見を行政に反映させること、地域住民と行政との連携と協働を推進することによりコミュニティ組織の育成、強化を図ることとされている。

委員の皆様、これから2年間よろしく願います。

2 市長あいさつ（代理：副市長）

○副市長 この地域協議会は、司会からもお話があった通り、コミュニティ組織の育成を図ることを目指しているが、その点からは、当八幡地域は大変優れている。産直ららの運営についても、地域の皆さんから行っていただいております、大変感謝している。

この協議会で出された皆様からのご意見を市政に反映してまいりたいと思うので、2年間よろしく願います。

3 委嘱状交付

副市長より、各委員に委嘱状を交付された。（その後、副市長退出）

4 委員自己紹介

事務局、各委員の順で自己紹介を行った。

5 会長及び副会長互選

○事務局 荒生明美委員、土井隆博委員の2名の欠席を報告。

「5 会長及び副会長互選」について

< 事務局 一任の声あり >

事務局一任との声があったため、今までの協議会の流れを熟知している、会長には池田満好委員、副会長には高橋知美委員にお願いしたい。

< 意義なしの声あり >

それでは、会長は池田委員、副会長は高橋委員に願います。

< 会長、副会長 それぞれ会長、副会長席へ移動 >

それでは、会長、副会長より挨拶を願います。

○会長 酒田市と3町の合併から早いもので18年目を迎えている。私も6期は委員として、第7期・第8期は、会の代表として、この地域の抱える少子高齢化、1人暮らしの高齢者、放置された空き家問題、そして自然災害に対する避難所問題等、委員の皆さんから提出された多数の要望を取りまとめ、この地域の安心安全な生活環境の向上に少しでも貢献でき

ればと行政と連携を取りながら努力をしているが、如何せん財源が伴う要望については先送りされている状況。

選出された私たちは、地域住民の声として行政に働きかけ、コミュニティ組織強化を図ることが肝要だと考えているので。委員の皆様の協力をお願いします。

- 副会長 先ほど会長より話があったが、長年解決していない問題もある。しかし、解決している問題もある。ここでの意見は消して無駄ではないと思うので、皆さんも地域の声をこの場で多く出していただき、よりよい地域にしていけたらと思う。

6 会議録署名人指名

< これ以降の進行は、会長が議長となり行う >

- 副会長 会議録署名委員の指名は、委員が改選されたこともありますので、委員名簿の順に指名していきたいと思うがどうか。

< 意義なしの声あり >

- 副会長 それでは、委員名簿1番の、井上委員を指名する。

7 報告

- 議長 「(1) 防災無線の新しい伝達手段について」

< 危機管理課 説明 >

- 信夫委員 この防災ラジオのワット数はどれくらいか。

- 危機管理課 コミュニティFM放送を利用する、20ワットとなる。

- 池田 修委員 防災ラジオは、個人で購入することになるのか。行政で一括購入とかはしないのか。

- 危機管理課 みどり農協や市役所地下売店で、購入することになる。

- 池田 修委員 八幡地域で、どのくらいの世帯が購入したとか把握するのか。

- 危機管理課 購入時に、住所と名前、簡単なアンケートも実施する予定なので、どのくらい各家庭に浸透しているのかはつかめる。

- 池田 修委員 一番心配しているのが、高齢者の方々、一番情報を必要としている人たちが、取り付けられず、情報がいかないことが問題。

- 危機管理課 私たちも携帯等様々な媒体を通じて情報を発信しているが、やはり携帯電話等を持っていない方々には、防災ラジオが有用だと思っている。これまで以上に周知を行っていき、販売を進めていきたいと考えている。

- 議長 お年寄りが多いので、自治会長が一軒一軒回ってお知らせするというようなことをやらないとだめだと思う。

- 危機管理課 あるところでは、自治会単位で購入しているところもある。

- 信夫委員 自治会で、設置したい人、必要のない人等アンケートを取って、全戸に配布するようなことやってもいいと思う。今後自治会長会等にも提案していく。そうでもしない

と広がらないと思う。置き去りにされる世帯が出るのが困る。

○小松委員 令和4年度からの実施となっているが、その前に試験放送等はやるのか。

○危機管理課 こちらとしては、免許が与えられれば、すぐにでもやりたいと考えている。

○議長 「(2) 市長報告会概要について」

< 事務局説明 >

○信夫委員 報告書の中に、観光物産協会は山居倉庫の指定管理を受けているので物販で手一杯。観光まで力が出せない。とあるがこれはどうゆう意味か。

○支所長 観光物産協会の事務局を担っている職員は少ない。その中で今までは、イベントや物販を行ってきたが、本来の観光客を呼び込む事業は、なかなかできていなかった。そのため、イベントの運営等は別の部署にしていかなければ、すべてが中途半端になってしまうのではないかとということで、動いている状況。

○井上委員 会長の発言で、市に1つあれば良いものは幾つもないが、合併した3町にも必要なものはあるということをお忘れなしてほしいというのは、どうゆう意味か。

○議長 酒田市という1軒の家の一つあれば良いものはそれだけでいい。でも、八幡・平田・松山という各部屋に必要なものもあるはずだということをお忘れなしてほしいということ。

○池田 修委員 市長の話で、地域協議会は合併後15年になるので解散の議論があってもいいとあるが、市長はいらんと思っているのか。

○支所長 3年ほど前に、地域協議会の廃止という話が出たことがある。そのときは、解散できるところから解散するというので良いかということをお話したところ、解散するのだとすれば、3地域一緒でまとまって、役割を終えたので解散しますということであればいいということだった。

○議長 「(3) 令和3年度酒田市予算（八幡総合支所関係）について」

< 事務局説明 >

○阿部委員 体育館の改修工事の予定はどうなっているか。

○支所長 計画では、今年度に設計業務委託を行い、来年に改修工事となっている。

○阿部委員 改築が改修になったのは、どうして。

○支所長 財源の問題もあるが、都市計画の色塗りの関係で、なかなか面積を広げることは難しいということになった。

○池田 修委員 各地区の公会堂がかなり老朽化している。補助金等助成はないのか。

○支所長 助成制度はあるが、みんながそのコミュニティ助成事業を狙っており、人気が高い。

8 協議

○議長 「(1) 八幡地域協議会年間計画」

< 事務局説明 >

- ・次回は、6月29日（火）に過疎計画の新計画への登載事業等について開催する。
 - ・それを受けて、7月下旬には、過疎計画(案)を提示し、承認を受けること
 - ・委員の皆様から地域課題を出していただき、3月の市長報告会への提言を行う。
- 以上を説明。

< 質疑なし >

9 その他

- 池田 香委員 酒田駅からゆりんこへ行くバスがないので、観光客がゆりんこへ行く方法を直接ゆりんこへ電話をかけてくる状況となっている。デマンドタクシーで行くことになるのか。
- 支所長 以前は、駅に観光案内所があったが、現在はミライエの方に移転している。路線バスの観光客利用はほとんどない状況であり、デマンドタクシーは、地域住民の利便性向上を目的としたものであるのご理解をいただきたい。
- 信夫委員 先日、奥山林道の整備の話聞いた。期成同盟会的なもの地域で作って、機運を高めようというようなことだった。我々には、そのような情報が全く聞こえてこない。このようなことがあるのならば、ルートの問題もあるので我々にも情報を示していただきたい。そうすれば、地域全体で、住民の声を大きく上げていくことができる。
- 支所長 奥山林道の協議会は、旧八幡町時代はあったが、山形・秋田両県ともに合併を機に一旦終了している。秋田県側で鳥海ダムの関係もあり、奥山林道を観光道路として整備できないかということで動いている。酒田市としては、今の道路の状況では観光用道路とすることはあり得ない。とりあえず奥山林道を通れるようにしてほしいということ。森林管理署でも、これまで何度も通れるようにするために入札を行ってきたが、入札不調となっている。このような状況で、酒田市の今のところのスタンスとしては、林道の機能回復をしていただくということを、森林管理署に要望している。県道や観光用道路としての位置づけの構想は、これからの必要性を考えて進めていく。
- 信夫委員 そのような発想では前に進まないと思う。地域挙げてこれは観光用道路にする、災害時の補完道路にするということを含めて考えなければいけない。一例としては、上田バイパスがある。地域住民が直接、県や国に要望を出してやっと実現した。これは、「上田バイパス方式」というらしい。そのようなことを行わなければいつまでもできない。これも本当にやるのであれば、地域を動かしていかなければできない。

7 閉 会

- 高橋副会長閉会